

ニュースリリース

報道関係者各位

**ロボットを使いプログラミングを学ぶ小中高生を指導する先生のための
「第 11 回 科学技術におけるロボット教育シンポジウム」を 7 月 21 日(土)に開催!**

全国の小中高生、2,000 人以上が集い、ロボットを使いプログラミングの腕を競う国際ロボットコンテスト「WRO(World Robot Olympiad)」を開催する NPO 法人 WRO JAPAN(東京都千代田区、理事長 山口俊治)は、同ロボコンに参加する選手たちを指導する先生、教育者向けに「科学技術におけるロボット教育シンポジウム」を 7 月 21 日(土)に科学技術館（東京都千代田区）で開催致します。

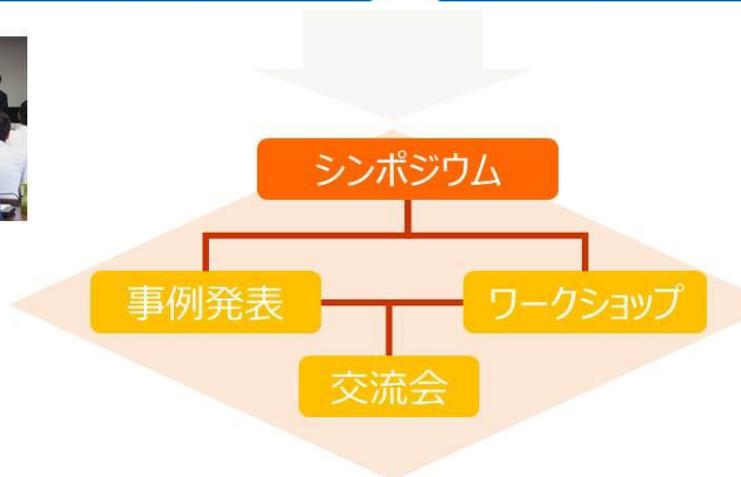
このシンポジウムは今回で 11 回目の開催となります。

科学技術におけるロボット教育シンポジウムとは

背景	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットを活用した「プログラムによる計測・制御」教育が世界中で注目されている ・授業ノウハウを持った教員の慢性的な不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットを素材とした教育の改善と進歩について議論し、指導技術を向上させる ・教育事例研究の情報共有



▼論文集



全国から集まる参加者の情報交換の場

■開催概要

- ・イベント名：第 11 回科学技術におけるロボット教育シンポジウム
- ・開催日：2018 年 7 月 21 日（土）9 時 45 分 開会～16 時 30 分終了予定
- ・会場：科学技術館（北の丸公園、武道館の隣） <http://www.jsf.or.jp/map>
- ・Web: <http://www.wroj.org/2018/symposium.html>

- ・主催：NPO 法人 WRO Japan、共催：WRO Japan 実行委員会、株式会社アフレル
- ・目的：教育現場、人材育成現場で実践されているロボットを活用した教育内容、手法等の発表、受講機会を設け、教員・指導者同士の交流の場を提供する
- ・内容：ロボットを活用した教育カリキュラム、体制、手法等。基調講演、各現場における教育実践内容発表、交流ワークショップ終了後、会場近隣にて懇親会あり（有料、希望者のみ）
- ・参加者：小中高校の教員、私塾や NPO の指導者、およびそれらをサポートする機関（大学、科学館等）また人材育成として取り組んでいる機関（企業、NPO 等）
- ・参加費：一般 3,000 円 学生 1,000 円（NPO 法人 WRO Japan 会員 1,000 円） プレス無料
申込フォームにて参加を申し込まれた方には、別途ご案内を差し上げます。

■ 基調講演

「人工知能(AI)社会とこれから必要とされる人材、学び」
リクルート次世代教育研究院 院長 小宮山 利恵子氏

- ・概要：人工知能(AI)という言葉を書かない日はないという程、社会に浸透しつつあります。AI は教育分野にも入ってきており、その流れは今後更に加速すると考えられています。
AI 社会においてどのような人材が今後必要とされるのか、そして学びはどのように変わっていくのか、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。
- ・講師プロフィール：
1977 年東京都生まれ。早稲田大学大学院修了。衆議院、ベネッセ等を経て 2015 年 11 月より「スタディサプリ」を展開する株式会社リクルートマーケティングパートナーズ入社。
同年 12 月より現職。

■ 本シンポジウム開催の背景

昨今、ロボットを活用したプログラムと計測・制御に関する授業は世界レベルで注目され、日本でも中学校の授業科目である“技術”の指導要領に入ってきましたが、従来から、慢性的な指導者不足の状態にあります。このシンポジウムは、学校現場や地域教育の中で、直接、小中高生に指導している教育者の実践報告に主題を置き、情報交換の場を提供します。
授業へのロボット導入を検討されている先生、地域教育に興味のある方、ご自身がロボットや関連技術に関心をお持ちの方々にも、ぜひご参加いただき、ひいては日本における指導者育成につながりますよう、心より願っています。

※総務省から公表された人材育成に関する研究報告書でも、WRO で利用するレゴマインドストームはプログラミング教育に利用される主なハードウェアとして紹介され、また、モチベーション向上や教育効果の認知度アップに WRO、ならびに当 NPO 法人が貢献していることが紹介されています。

【総務省サイト】http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000068.html

■ WRO とは

WRO は 2004 年シンガポール国立サイエンスセンターの提案により始まり、2016 年は約 50 の国と地域から約 20,000 チームが参加しました。自律型ロボットを使用し、各年のテーマに沿ったミッション攻略に挑みます。

<http://www.wroj.org/>



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

NPO 法人 WRO Japan/WRO Japan 実行委員会 事務局

Tel : 03-4405-9780 /e-mail : wro@wroj.org

【FAX 返信用 03-5643-5166】
【メール返信 wro@wroj.org】

ご出席の有無（ご出席・ご欠席のいずれかにチェック）ならびに、貴社名、所属部署名、御出席者氏名等
をご記入の上、**7月19日(木)**までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

日 時 : 2018年7月21日(土) 9時45分 開会, 16時30分終了予定
会 場 : 科学技術館
ア ク セ ス : 東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口より550m
<http://www.jsf.or.jp/map/>

ご出席

ご欠席

■ 貴社名	
■ 貴媒体名 (所属部署名)	
■ 御出席者氏名	※ご出席人数：合計 名様
■ 御連絡先	
■ E-mail	

※当日は[Press]腕章を用意しております